

# ★学習情報グループメンバーの哀悼の言葉★

## 根岸さんを偲ぶ / 奥野英城 (生涯学習ボランティア「悠学の会」代表)

私が根岸さんに初めてお目にかかったのは、2009年12月、生涯学習センターで開催された生涯学習ボランティア養成講座に参加した時のことです。

根岸さんは「悠学の会」で情報紙「生涯学習だより」の制作グループのリーダーをされていて、「楽しく！和やかに！」を合言葉に和気あいあいと活動しているので、ぜひグループと一緒にやりませんかと誘われて以来、ご一緒に編集作業を行ってきました。定年後、地域でなにか生き甲斐を探したいと思っていた時に、この方ならご一緒に楽しめると直感的に感じてグループに参加させていただきました。



<75号インタビュー時の根岸さん>

根岸さんは温厚で、なにごとにも緻密に考えられて行動される方でした。編集作業では、ずいぶん教えられました。また、「だより」では様々な分野の記事を書かれていますが、どれも丁寧に調べられた結果に基づいていました。多磨町の歴史などは非常に印象的でした。私は、「だより」編集の過程で、根岸さんから府中市の歴史についていろんなことを学びました。

また根岸さんは、漆器の装飾を趣味にされていて、「学びのサロン」で蒔絵や螺鈿についてうんちくを語っていただいたこともよく記憶に残っています。

最近では地域の自治会やシニアクラブでいろいろの地域活動をされているとお聞きしていましたが、少し早く卒業されたのは残念です。しかし私たちに多くの社会活動の成果、貢献の姿を残してくれました。あらためてご冥福をお祈りするとともに、感謝をお伝えしたいと思います。

永い間、ありがとうございました。

\*\*\*

## 追悼の辞 / 小林清次郎

小生は現在休会中ですので学習情報グループの活動とは疎遠になっておりますが、かつて同じ時グループで活動した根岸さんの訃報には大変驚きました。

氏とは自分が休会する前に会ったきりその後は顔を見る機会も無くなってしまいましたが、学習情報グループにおいては同じ目的をもって活動に取り組んだことがなつかしく思い出されます。活動の場では時には意見が一致しないこともありましたが、常に冷静で温厚な物言いで周りを落ち着かせ、説得力のある情報を持ち出して、最終的には和気藹々に丸く収めて頂きました。

思えばあの柔和で温容な態度があったことで定例会も穏やかな会合になったような気がいたします。

また生涯学習センター以外の場でも、地区社協（ささえあい協議会）の活動で役員をされていたことも耳にしており、当方も同活動に参加しているところから地元でもお互いに同じ

目的をもって活動していると遠くから頼もしく感じておりました。地域の役員などの活動状況からいつまでも健やかであって欲しいと願っておりましたが、このような報を聞くことになり誠に残念に存じております。

在りし日を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げる次第です。

\*\*\*

## 根岸光紀さんを偲んで／渡邊繁雄

2年前、本誌75号の取材が根岸さんに会った最後となった。

今思えば、体調があまりすぐれない中、時間を割いて下さいました。

9年前、私が悠学の会に入会し、情報紙のグループに加わって皆さんに歓迎会をして貰った折(右の写)、現役当時の仕事の話がされたりして、新参者の私に大変気遣いをして戴きました。

私の最初の取材記事の花火(丸玉屋煙火店)にも同行して戴き取材要領を教わり大変感謝致しました。この様な教わり方は久しぶりの事で、新入社員の時の様でした。それ以来、情報紙の作成を今日まで続けられています。

その後も、府中市消防署の取材の手配など、きめ細かい配慮は今も印象深い思い出です。75号でも触れていますが、独り暮らしの高齢者の見守りなどの機能に力を尽くしたり、ご自身の体調よりも他の人のために行動されていました。

根岸さんのご冥福を祈るばかりです。

\*\*\*

## 根岸光紀さんの思い出／井口文江

2011年9月にフェスティバルでオカリナ演奏をして終了した時ツカツカと来て楽習だよりのグループ紹介を書いて貰えないかと依頼され、はい！はい！と軽く返事をしたのがきっかけです。

以来、悠学の会を勧められ、またまたはい！はい！と軽く返事をしたのが運のツキでした。

それからはいろんな所に取材に行き、いろんな方にインタビューをして知り合いになりました。とても有意義な日々を送らせていただきました。

根岸さんはとても温厚な方で怒る事を知らないのではないか、と思う方でした。心よりご冥福をお祈りいたします。



<歓迎会後のスナップ 中央が根岸さん>

右から2番目:私(渡邊) 左端:奥野/その隣:小林の各氏



<取材中のスナップ/手前が根岸さん>

\*\*\*

## 根岸さんと出会い／柴田洋子

悠学の会に入り8年が経ちました。人生初の府中の地で環境に馴染めないでいる私に、生涯学習の必要性和悠学の会の存在の素晴らしさ、活用する事の意義など、皆様ご存知の温厚な微笑みと豊かな知識で入会に導いてくださいました。今、10月22日東京を訪れた次男と靖国神社の染まりゆく秋の境内で、根岸さんを偲んでひとり、時を過ごしています。心からの感謝と共にご冥福をお祈りしています。有難うございました。お会いしたいです。合掌。

\*\*\*

## 根岸さんのまなざし／西谷信昭（学習情報グループリーダー）



この写真は、根岸さんが、ほぼ毎年ボランティアとして参加されていた生涯学習フェスティバル(府中市生涯学習センターで開催)のワンシーン。

階段の踊り場に佇む根岸さんの視線の先では、1Fアトリウムで行われていた市民発表会で、子供たちが演奏しています。2階の持ち場から降りてきた私は、思わずシャッターを切りました。

根岸さんといえば、優しいまなざしと緻密な情報にもとづいてお話しされる真摯な態度が、誰もの脳裏によみがえります。本当に優しくて真面目な方だったと思います。

「西谷君、無理をしたらだめだよ」あの優しさに、もう触れられないと思うと、本当にさみしいです。

ここまで培っていただいた『生涯学習だより』の様々なレガシーを、大切に、大切に編集に携わっていきたいと思います。

心からご冥福をお祈りいたします。根岸さん、本当にありがとうございました。

---